官僚たちが「四つの原則」な の風潮は、いかに保守派の党 入された拝金主義(向銭智) とは、ひとたび国策として運 ような中国にあって確かなこ まよいつつある。だが、その 再び不可視の混沌のなかにさ をつけること)された中国は、 チャン)」(決算もしくはカタ

1991年2月

安門六・四「血の日曜日」 放の十年間が民主化抑圧の天

非毛沢火化による改革・開

に流行した「傷痕文学」や「報

実態が

「切雁」(チェホエ)

手口とともに紹介されている

中で、若者の生態も深刻な段

こうした中国社会の現状の

階に遂している。本書では

「《破壊欲》を発散する若者

といって、巧妙に猫ばばする

映だと見做すことができよ をやっている現状の社会的反

件によって「算販(ソワン・

何よりダメな中国

12-15刊 四六中266頁 2200円

孫偉著

给木帜訳

- 書房

図書新聞

「ふうん。いくらそうやって 部の女性が、お勉強会、を

企画。統一を控えて世界の注 社会進出など盛りだくさんの

ものだけに国の援助が出され

女性が広告や映画にたくさん ポルノであれ何であれもっと で男性差別だと怒る男たち、 動、教育、宗教、ポルノグラ た諸行事は、フェミニズム運 中の女性』と銘打って催され

フィー、音楽、映画、母性、

では、制作後一年以内に一定

法改正があるという。それま に、じつは七四年の映画援助 れを可能にした社会的背景

性用ポルノも作ればよい、と

いう者、反ポルノは逆の意味

とする者、いや、それなら女

の興行収入をあげられそうな

いのか。

行せざるを得ないことではな ルにおいても、いかんなく進 蝕の歴史的道程は、大衆レベ 現体制が続くかぎり、その腐 うとしてももはや逆らえず、 どのイデオロギーで教化しよ

爆発する。悪のエネルギーが 部の息づきとともに、沸騰し

に圧倒されざるを得まい。 たとえば、やみドル市場の

断章を説んでも、引き裂かれ 中国社会の現実の描写のどの など、めくるめく展開される 下市場」「留学生の愛と性」 カー一税と法」「やみドル地 に墜ちたモラル」「脱税と欄 読者は、「最新離婚事情」「地 集」になっている。従って、 社会大透視——社会問題特官 の原題が示すとおりの「中国 タイトルにもかかわらず、そ り、いささか大げさな邦訳の 体的なドキュメンタリーであ 違った、きわめて詳細かつ具 告文学」のジャンルとも一味

> 中国政府自体の政策が変らな ている。著者の言うとおり、 法」に真正面から疑惑を呈し

いかぎり、つまり外貨兌換券

(FEC)の存在という、き

れない。

つあることを憂えずにはいら 学生社会に除々に投影されつ がある」として、国家の「政 現在の政策の弊害と直接関連 根絶されないのは、わが国の のやみ取引きが何回禁しても 名の著者は、「外貨や外貨券 ャーナリストとも思われる匿 けれど、おそらく改革派のジ

> 発・」として描写されている たち」「留学生の。離婚大爆

が、私自身、数多くの中国人

策、金融制度、外貨の管理方

日接触している現場に身を置 置学生、研究生、就学生に毎

く者としては、中国社会内部

の退廃や悲喜劇が、日本の留

た人間関係の巨大な集合体内

中国社会を 腐蝕の歴史的道程を内部から告発

いってよい。それも、文革後

るプローカーやサギ師たちの

を上海や深圳に設置してやみ 中心」(外貨調整センター)

中国学

章などは、北京に巣食ってい

外貨獲得のために「外匯調剤

が、これも、中国政府自身が の手口はなくならないのだ 存するかぎり、やみ市場や悪 わめて屈恥的な金融制度に依

に値しよう。

(東京外国語大学教授・現代

社会最新レポートとして一説

その意味でも、本書は中国

たいする内部告発の文書だと

本書は、そのような中国に

「これからフェミニズムの

爆発する

合体内部で

の。日本とドイツの女性文化 シンポジウムを聴きに行く 人が一堂に集まるのよ。

・ドイツ の新しいう と行動 以中B40 / 1600円